



ファーストキャリア「新卒・若手層育成研究所」調査レポート

初の“フルゆとり世代”18年新入社員の傾向：「積極的で活発な社員が増加」

～ 成長意欲が高く前向きである一方、周囲との連携に課題がある傾向 ～

年間約 17,000 人の新入社員研修を担当する株式会社ファーストキャリア（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：瀬戸口航、以下「ファーストキャリア」）は、2018 年度の新入社員や人事・研修担当者、研修担当講師へのアンケートをもとに「新卒・若手層育成研究所」調査レポートをまとめましたので、その内容をお知らせいたします。

今年の新入社員は、積極的で活発な社員が増えることで、過去 5 年で大勢を占めた「おとなしくて同調性重視の安心・安全型」と「積極的で自分基準重視の自己偏重型」との 2 つのタイプへと「二極化」が進んでいる傾向にあることがわかりました。

過去 5 年のアンケートでは、新入社員の行動特性として、「まじめ素直」「周囲との関係性を築くことが早い」「集団では出過ぎない」という「おとなしくて同調性重視」の傾向が多く見受けられました。2018 年度の新入社員を対象にした今年のアンケートでは、「自分の考えを持ち、積極的で発言力がある」「自分の考えに合致しないことに関しては、時に排他的になる」という「**積極的で自分基準重視**」の傾向が加わり、これまでの「**おとなしくて同調性重視**」の傾向を持つ新入社員との二極化が進んでいると捉えられます。

また、新入社員へのアンケートでも、本人たちが自覚しているプラス面の項目として、1 位「コミュニケーション能力が高い」（60%）、2 位「向上心、積極性が高い」（42%）という結果になりました。一方で、マイナス面では「主体性がない、積極性にかける」（46%）、「控え目でおとなしい、内向的、周りに流される」（33%）というプラス面の裏返しのような項目も上がり、「二極化」の傾向を裏付けるものとなりました。

■ 「積極的で自分基準重視」の傾向が増えてきた時代背景

（1995 年生まれの新入社員は、“フルゆとり世代”×“スマホネイティブ”）

背景として、今年の新入社員の大半を占める 95 年生まれが、唯一小学校入学～高校卒業までゆとり教育を受けた世代（フルゆとり世代）であり、青年期からのスマートフォンの存在が何かの判断の際の情報収集のしやすさがあったことが考えられます。

【調査内容に関するお問い合わせ】 株式会社ファーストキャリア ナレッジ開発本部 加藤博司
TEL.03-3440-0013 FAX.03-3440-0014 E-mail h-kato@firstcareer.co.jp

【リリースに関するお問い合わせ】 株式会社ファーストキャリア 広報担当 高橋稔
TEL&FAX 同上 E-mail minoru-takahashi@firstcareer.co.jp



■「新卒・若手層育成研究所」研究員の分析結果

今年の新卒は、全ての教育課程で「ほめて伸ばす」「興味関心への没頭を推奨」するゆとり教育を受けた世代です。また、情報を自分基準で瞬時に取捨選択することに慣れているスマホネイティブ世代にあたると同時に、超売り手市場の就職活動の中「評価する立場、選ぶ立場」を強く体感している世代でもあります。このような環境から、近年と比較して、より「自己肯定感」や「自分視点軸」が強まっていると考えられます。

当社、ファーストキャリアが行った新入社員研修の調査結果に基づくと、新入社員の声としては、

- 一層の実践の機会を与えて欲しい
- 自ら考える機会を与えて欲しい
- 自分達の向上心・挑戦心を活かす機会を与えて欲しい

等を望む声が多く見受けられました。

上記のような傾向から、育成する側は、個人の自己肯定感を大切にしながらも少しハードルを上げた目標・役割を与え、同時に内省のサポートを行っていくことが要諦と考えられます。また、「自分視点」だけでなく「相手視点、全体視点」を身につけることの重要性も意識させることが必要と言えます。

■過去5年と今年の新入社員の傾向

年代	概要
2013年	・まじめで素直。自己成長意欲や指摘されたことをすぐに修正する対応力が高い。 ・効率的に早く進められる一方で、高いレベルの結果を出すことには関心が薄い。
2014年	・まじめで素直。協力することへの意欲が高い。 ・言われたことを理解するのが早い一方で、深掘したり、真意を読んだりする力は弱い。
2015年	・まじめで素直。指示・求められる行動にしっかり応えようとする。 ・協調性を重んじるあまり、集団では出過ぎないようにする傾向がある。
2016年	・まじめで素直。仲間との連帯感・一体感を創り上げることが得意。 ・一体感の醸成が得意な一方、コミュニケーションに消極的な面があり、本音が見えにくいこともある。
2017年	・まじめで素直。いわれたことをすぐに理解し、行動に移せる。 ・周囲との関係性を築くのが早いですが、周囲に気を遣いすぎて、様子見してしまうこともある。
2018年	・まじめで素直。言われたことをそつなくこなす。失敗しない行動を優先し、周囲との関係性を大切にしている。 ・自分の考えを持ち、積極的で発言力がある。ただ、なかなか自分の考えを捨てきれず、時に排他的になる。

【調査概要】

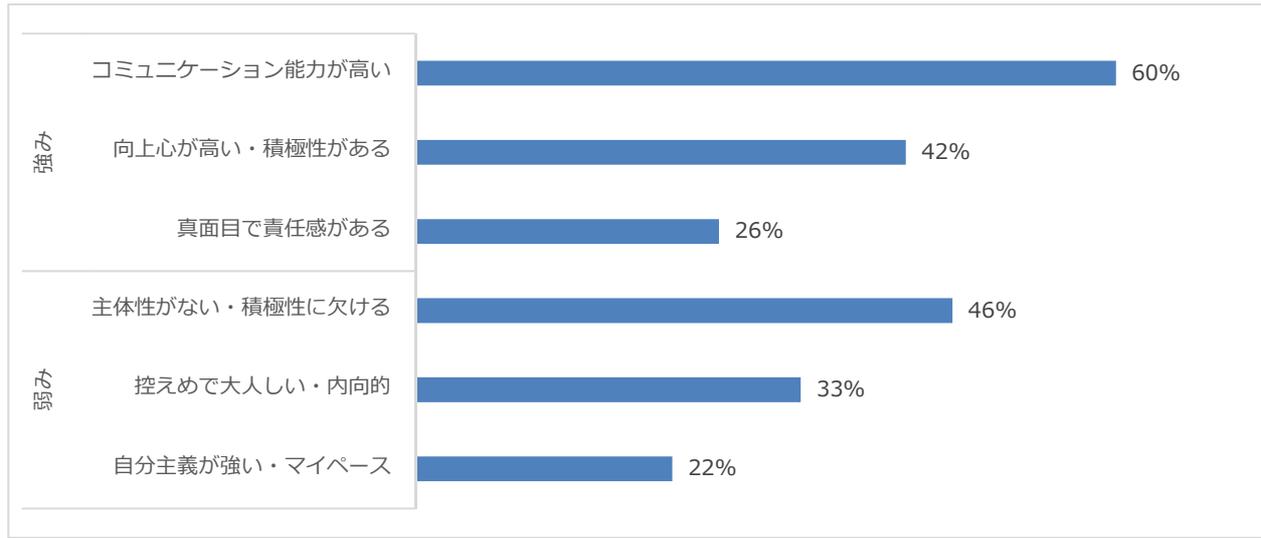
- ・実施時期：2018年4月～5月
- ・調査対象：2018年新入社員、人事・研修担当者、研修担当講師
- ・有効回答数：1,970件

【調査内容に関するお問い合わせ】	株式会社ファーストキャリア ナレッジ開発本部 加藤博司 TEL.03-3440-0013 FAX.03-3440-0014 E-mail h-kato@firstcareer.co.jp
【リリースに関するお問い合わせ】	株式会社ファーストキャリア 広報担当 高橋稔 TEL&FAX 同上 E-mail minoru-takahashi@firstcareer.co.jp



① 新入社員へのアンケート結果：自身が自覚する「強み」「弱み」について

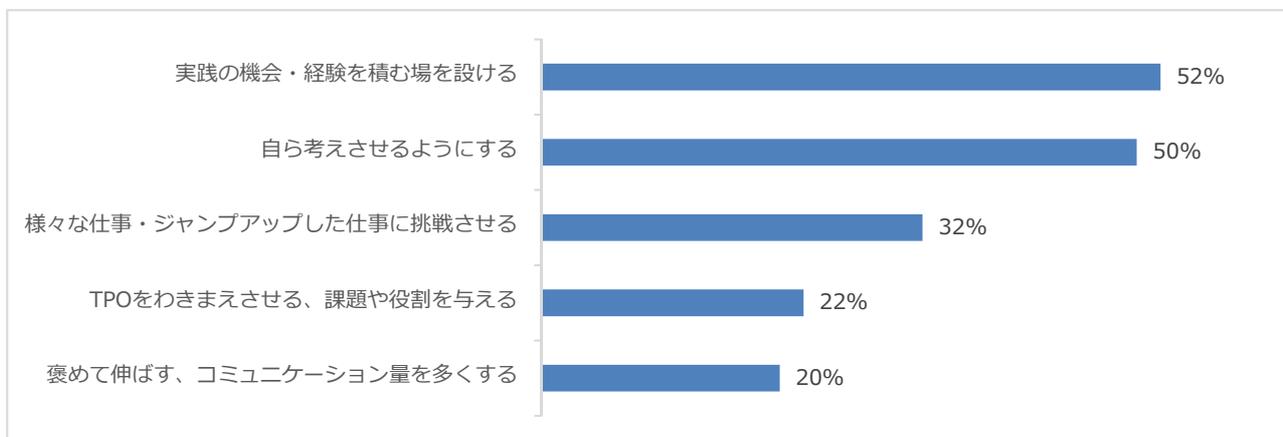
・強みは「コミュニケーション能力が高い」(60%)や「向上心が高い、積極性がある」(42%)があがる一方で、弱みは、「主体性・積極性に欠ける」(46%)、「控えめで大人しい」(33%)があがり、二極化を裏付ける結果になりました。



② 新入社員へのアンケート結果：自身が望む「育てられ方」に対して、育成側が検討すべきポイント

・「実践の機会を与えて欲しい」(52%)や、「自ら考える機会の提供を望む」(50%)など、全体的に挑戦意欲が現れた項目が多い傾向を踏まえ、育成する側が抑えるポイントとして下記が想定されます。

- 個人の自己肯定感を大切にしながらも少しハードルを上げた目標・役割を与える
- 上記と同時に内省のサポートを行っていく
- 「自分視点」だけでなく「相手視点、全体視点」を身につけることの重要性を意識させる



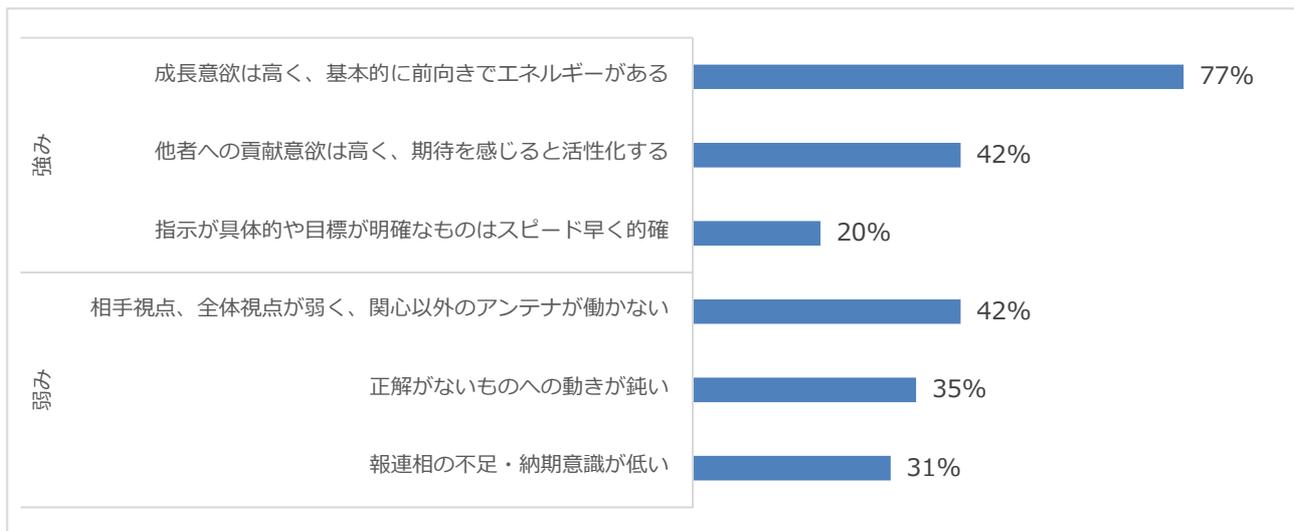
【調査内容に関するお問い合わせ】 株式会社ファーストキャリア ナレッジ開発本部 加藤博司
TEL.03-3440-0013 FAX.03-3440-0014 E-mail h-kato@firstcareer.co.jp

【リリースに関するお問い合わせ】 株式会社ファーストキャリア 広報担当 高橋稔
TEL&FAX 同上 E-mail minoru-takahashi@firstcareer.co.jp



③ 新入社員の周囲へのアンケート結果：新入社員の「強み」「弱み」について

・「成長意欲が高い」(77%)、他者への貢献意欲が高い(42%)など、前向きな面が強みである一方で、「相手視点・全体視点が弱い」(42%)「正解がないものへの動きが鈍い」(35%)、「報連相の不足」(31%)など、周囲との連携面が弱みであるという傾向がみられました。



【ファーストキャリアについて】

ファーストキャリアは、「企業人として大きく羽ばたいていこうとする若者のキャリア構築支援」に特化した企業です。特に、新入社員研修においては、国内最大規模の約 17,000 人（4 月、5 月実施分）の研修を担当しています。

「若手の人材育成」に特化した研修の提供を通じて培ってきたナレッジと、1,000 名以上の多岐にわたる講師・コンサルタントのネットワークを活かし、企業の状況 / 受講者の特性 / 研修テーマなどを考慮した上で、若手育成に関する人材開発/組織開発コンサルティングに取り組んでいます。

■会社概要

会社名：株式会社ファーストキャリア

所在地：東京都渋谷区恵比寿 1-19-19 恵比寿ビジネスタワー 7F

事業内容：企業におけるファーストキャリア構築期人材の成長支援、プロフェッショナル化支援

サービス内容：「若手層向け教育研修の企画・開発・実施運営」、「若手育成に関する人材開発/組織開発コンサルティング」、「若手層育成に関するリサーチ・レポート」など

【調査内容に関するお問い合わせ】 株式会社ファーストキャリア ナレッジ開発本部 加藤博司
TEL.03-3440-0013 FAX.03-3440-0014 E-mail h-kato@firstcareer.co.jp

【リリースに関するお問い合わせ】 株式会社ファーストキャリア 広報担当 高橋稔
TEL&FAX 同上 E-mail minoru-takahashi@firstcareer.co.jp